

令和4年度丹波市社会教育委員の会議 グループワーク意見一覧

地域学校協働活動を推進するにあたり必要なことは？

【1. 地域に必要なこと】

① 活動に関わる人材づくり

- ・各活動等のキーパーソン
- ・キーパーソンを探す
- ・社会教育を語れる人を見つける
- ・資源になるものを探し出す（ティーチャー等）
- ・人材の把握
- ・人材の確保
- ・女性の活躍
- ・人材の発掘

② 子どもへのアクション

- ・子どもたちにあいさつを大人からする
- ・子どもがいなくても関わること
- ・将来を担う人材という意識
- ・子どもへの声かけが出来る関係づくり
- ・子どもの声にアンテナを
- ・元気な若者であってほしい
- ・高齢者の方との交流
- ・子どもたちに関心や興味を持つ
- ・自治会の子どもの顔を知る
- ・顔見知りになる
- ・登下校の見守りとあいさつ
- ・地域行事に子どもの役割を入れる

③ 学校との関係

- ・学校は地域を構成する一部
- ・教員の負担軽減
- ・学校側からの希望
- ・学校でどういうことを教えているかを知る

- ・学校に関心を持つ 地域の方から
- ・学校行事に参加する（通っている子どもがいなくなっても）
- ・学校から役とか用を頼まれたら断らない
- ・学校への関わり方を考えていく
- ・地域住民の理解
- ・学校へ行きやすい雰囲気づくり
- ・学校へ行く（オープンスクール・登校見守り）
- ・将来のビジョン共有
- ・何をしているのかを周知する

④ 地域のあり方

- ・地域の人同士で世間話をする
- ・人とのつながりを大切にする（集まりに参加）
- ・自治会等の協力体制
- ・押し売り
- ・保護者の要望を聞く
- ・地域に関心を持つ
- ・素材集め
- ・近所の声かけ
- ・伝統行事を伝える・守る
- ・地域での行事を大切にする
- ・情報発信（対住民）
- ・集まる機会の確保
- ・安心・安全な場所
- ・異年齢の交流
- ・60歳代～70歳代の元気な方々のコミュニティー
- ・高齢者の生きがいづくり
- ・大人が地域の良さを知る
- ・住民が地域のことを知る
- ・交流
- ・わがごととして考える
- ・「してやっている」と思わないこと
- ・自治協の行事に参加する
- ・伝統行事
- ・子どもの声が聞こえる地域

⑤ 様々な場づくり

- ・集まる場所（機会）を作る
- ・自治会で理解を深めていけるような学びの場づくり
- ・どんな子どもに育ててほしいのか語る場
- ・顔の見える場
- ・話し合いの場づくり
- ・遊べる場所
- ・交流する機会
- ・働ける場所

⑥ 地域学校協働活動について

- ・ボランティアの呼びかけに応じる
- ・ボランティアではない
- ・どんな活動をされているか知る
- ・地域学校協働活動への理解と“本質的な協働活動”を培い育む
- ・まちづくりにつながるという視点
- ・コミュニティースクール（学校運営協議会制度）への理解度を高め深める
- ・地域学校協働活動への評価をすること

【2. 学校に必要なこと】

① 学校の体制・取り組み（1）～地域との関係

- ・学校に関わりのない方への声かけ
- ・学校行事をアピールする
- ・地域との対話
- ・行事を伝える
- ・地域の人意見を聞く
- ・困っていることを地域に伝える
- ・部外者だと思っても言わない
- ・受け入れ体制
- ・その地域の持続可能性を見る視点
- ・何でも思っていることを伝える
- ・先生が地域の人と顔見知りになる
- ・先生が地域のことを理解する
- ・地域のことを知る（人）（歴史）
- ・地域に関心を持つ
- ・地域の困りごとの把握

- ・地域の人に感謝する
- ・地域人材を知る
- ・地域人材の活用
- ・地域を知る
- ・求めていることを伝える
- ・地域の人を招く（高齢者）
- ・先生が地域に入る
- ・雰囲気…いつでも Welcome

② 学校の体制・取り組み（２）～情報発信

- ・情報発信
- ・情報発信（プライバシーもありますが）
- ・学校のことを知ってもらう（子どもがいない家）
- ・情報発信・・・行事など、困っていることなど
- ・学校の困りごとを発信
- ・学校 HP の発信

③ 学校の体制・取り組み（３）～学校内部

- ・転勤した時の引き継ぎ
- ・校長先生と職員・先生との話し合い
- ・門を開ける 開かれた学校
- ・校長・教頭以外の人も関わる
- ・総合時間にゲストティーチャー授業を増やす
- ・PTA 活動への前向きな参加
- ・子どもたちが地域を知る
- ・コロナ前に展開されていた数々の良い取り組みを取り戻す
- ・子どもが安心して遊べる放課後の運動場
- ・子どもだけでグラウンド使用 OK？
- ・部活動はほどほどに！
- ・子どもの意見を聞く

④ 学校が地域と一緒にやれること

- ・地域の人が入ることを先生が理解深める
- ・参観日のほかにも学校に来てもらう
- ・子どもと地域の方とのお話する場をつくる
- ・子ども達が地域とふれあう場をつくる
- ・せめて地域の祭りには参加して

- ・運動会一緒にやりませんか
- ・地区の運動会を開催
- ・音楽会一緒にやりませんか
- ・遠足一緒に行きませんか
- ・課題・問題等を地域と一緒に考える
- ・地域の人が学校で集まる場所
- ・地域住民への教室・校庭の開放
- ・学校の困りごとを地域と共有
- ・住民が集える教室（場所づくり）
- ・夏祭り
- ・学校と地域が一緒にできること(行事)
- ・部活やクラブへの参加要請
- ・外あそびが減っているように感じる
- ・地域と学校の十分な対話
- ・子どもにアンテナ、子どもファースト
- ・保護者同士が顔見知りになる環境づくり
- ・地域行事への子どもたちの参画を！

⑤ 地域学校協働活動について

- ・教職員の皆さんに協働活動を行うメリットを体感してもらう
- ・地域学校協働活動への評価をすること

【3. 自分にできること】

① 子どもと一緒に

- ・子どもにあいさつ（声かけ）
- ・通学路の点検
- ・ボランティア（子どもたちのクラブ活動）に参加
- ・子どもの見守り
- ・子どもと一緒に学校へ行く
- ・子どもの話し相手、遊び相手
- ・読み聞かせ
- ・チェーンソーを使って植木の選定や、里山の遊び場の保全
- ・自然遊び
- ・習字
- ・森（里山）づくりの楽しさを一緒に体験する

② 学校との関わり

- ・地域の方と一緒に連れていく
- ・学校へ関わっていく
- ・先生と地域のボランティアをつなぐ
- ・学校に親しみを持つ（オープンスクールに参加するなど）
- ・学校に行ってみる（オープンスクール）
- ・地域の住民として、学校に入る

③ 自分の活動・行動として

- ・学校外活動で好きなことを頑張る
- ・自分の役割
- ・仲間づくり、担い手
- ・つなぐ
- ・困りごとを相手に伝える
- ・困りごとをみんなで考える機会をつくる
- ・役割を分担しみんなで頑張れる機運をつくる
- ・地域・学校に理解を示す
- ・仲間づくり
- ・組織づくり
- ・担い手づくり
- ・それぞれの思いを聞く（つなぐ役割）
- ・自治会行事に小中学生を招く
- ・ボランティアなど呼びかけがあると参加する
- ・地域の女性会に積極的に参加する
- ・行事に参加する
- ・地域・学校と取り組みを否定しない
- ・この地域で楽しんで暮らしている姿を見せる